

「門司港地域複合公共施設整備事業」に係る公共事業評価の結果等に対する市民意見募集結果及び市の対応方針について(報告)

門司港地域複合公共施設整備事業については、昨年 10 月から構想段階の事業評価（事前評価 1）を実施し、10 月 30 日の「公共事業評価に関する検討会議」で、「具体的な事業計画を示すための基本設計等を行うことについて異存はない」とのご意見をいただいた。

これを受けて、事業概要及び市の対応方針（案）に対する市民意見の募集を経て、このたび、市の対応方針を公表するもの。

1. 市民意見の募集

(1) 実施期間

平成 30 年 11 月 28 日（水）～12 月 28 日（金）

(2) 意見提出者 38人

電子メール	郵送	F A X	持参
14	1	15	8

(3) 提出された意見数 111件

内 訳	件 数
1. 全体的な意見について	16件
2. 複合公共施設の位置について	16件
3. 公共施設の集約について	29件
4. 複合公共施設の仕様について	20件
5. 門司港地域のまちづくりについて	13件
6. 広報、意見聴取について	5件
7. その他	12件

(4) 主な意見(資料4)

◇複合公共施設の位置や集約について

- ・老朽化が進み、交通利便性の悪い場所に立地している公共施設を使い勝手がよく交通利便性の良い門司港駅付近に集約する今回の事業については大いに賛成。
- ・公共施設は住民が気軽に利用できるよう、分散して建ててほしい。
- ・既存の複数の施設を、集約することで、施設の建設費、維持管理費、運営費が削減されることは、私たち市民にとっても喜ばしい。
- ・図書館は駐車場（無料）が多くあり、静かな場所がよい。

◇複合公共施設の仕様について

- ・施設の1階部分は、コンビニや店舗を入れるなどして、いつも人が集まる工夫をして頂きたい。
- ・1階を区役所とし、上の階に図書館を置くべき。
- ・複合化による観光客や域外の人が気軽に立ち寄ったり、住民とも交流できるような、新しい機能、価値を創出するような複合公共施設を目指してほしい。

◇門司港地域のまちづくりについて

- ・外観については特に磨きをかけて、100年経っても素晴らしい建物であり続けられるようなものを考えてほしい。
- ・移転後の跡地利用について、住民の意見を取り入れて、活用してもらいたい。
- ・商店街の方にも人が行くよう考えてもらいたい。
- ・門司港駅とレトロ地区と今回の複合公共施設が一体的になれば魅力が増す。

2. 公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針(資料2)

【対応方針】

事業実施に向けた準備を継続することとし、より事業内容が具体化された後に2度目の事業評価(事前評価2)を行うこととする。

なお、検討会議で出た留意点としての意見や、市民からの意見も踏まえた上で対応する。

○公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

資料3:「公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応」
のとおり

○市民意見の概要とその対応

資料4:「提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方」
のとおり

3. 今後の進め方

平成31年3月	基本計画の策定
平成31年度～	施設整備(基本設計等)に着手 公共事業評価(事前評価2)
平成34年度末	完成

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針
 (対象事業：門司港地域複合公共施設整備事業)

【対応方針】

事業実施に向けた準備を継続することとし、より事業内容が具体化された後に2度目の評価（事前評価2）を行うこととする。

【対応方針決定の理由】

門司港地域複合公共施設は、老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設など（門司市民会館、門司生涯学習センター、門司勤労青少年ホーム、門司図書館、旧国際友好記念図書館、門司区役所庁舎、港湾空港局庁舎）を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化に寄与するものである。

○集約先の選定

北九州市公共施設マネジメント実行計画の中で、門司港駅周辺において、複合公共施設が整備可能となる一定の敷地面積を確保できる場所は駅東地区（案A）と駅西地区（案B）の2箇所としており、2箇所について比較を行った上で、駅東地区（案A）を集約先として、公共事業評価を進めることとした。

◇財政面の比較

駅東地区（案A）と駅西地区（案B）の概算総事業費（イニシャルコスト及びランニングコスト（年間））を比較した結果、財政面では大差はないこと。

◇性能面の比較

説明会、懇話会でのご意見、鉄道やバス停からの交通アクセス、施設配置等、性能面では、駅東地区（案A）の方が優れていること。

今回の公共事業評価に関する検討会議では、事業実施に向けた準備を継続することについて、出席したすべての構成員が「異論はない」との意見であった。ただし、具体的な事業の進行にあたって、留意すべき点が意見として挙げられた。

続いて、これらの留意点を踏まえた市の対応方針案について市民意見を募集したところ、公共施設の集約の方向性や施設配置等について、市民から多くの意見を頂いた。

これまでも、商店街や地元住民の方々とは意見交換会を52回開催し、市民意見の把握に努め、専門的な意見等の把握に努めてきたことなどの経緯を踏まえ、総合的に判断した結果、本事業は「事業実施に向けた準備を継続」し、より事業内容が具体化された後に2度目の評価（事前評価2）を行うものとする。

なお、検討会議で出た留意点としての意見や、市民からの意見も踏まえた上で対応する。

○公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

資料3：「公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応」のとおり

○市民意見の概要とその対応

資料4：「提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方」のとおり

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
(1) 景観への配慮について	門司港レトロ地区の玄関口、門司港駅前の大切な場所なので景観に配慮すること。	門司港レトロ地区の玄関口にふさわしい景観となるよう努める。
(2) 複合公共施設の機能、レイアウトについて	複合公共施設が単体施設の寄せ集めにせず、複合化による新しい機能、施設の価値を上げるよう努めること。 また、観光客を含めた交流人口を増やす機能も必要ではないか。	複合化により新しい機能、価値を創出する施設になるよう努める。 集約する施設の機能については、関係者と協議調整したい。
(3) 複合公共施設の拠点性について	門司港地域の拠点となる施設、地域住民だけでなく、域外の人にも集まる施設にするよう努めること。	現在の複合公共施設利用者だけでなく、多くの方に利用して頂ける施設となるよう努める。
(4) 意見聴取及び市の体制について	基本計画の策定にあたっては、市内の建築設計の専門家から意見聴取すること。また、複合公共施設を整備する市の体制を整えること。	基本計画の策定については、専門家などの意見を聴取するとともに、市内部の関係部署と密に連携して取り組む。
(5) 集約した施設の跡地、跡施設の活用について	集約した施設の跡地、跡施設が有効活用できるよう努めること。	複合公共施設整備に伴い、集約した施設の跡地、跡施設については、民間売却を原則とする。 国の登録有形文化財である門司区役所庁舎については、民間での有効活用を基本に検討していく。

提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業:門司港地域複合公共施設整備事業)

No.	意見の概要	本市の考え方
1. 全体的な意見について(16件)		
(1) 事業の推進について(13件)		
1	市民、観光客、双方の利便性が向上する計画であるため、このまま事業を推進いただきたい。	<p>【No.1～13】 門司港地域複合公共施設整備事業は、老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減するものです。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、図書館などの市民利用施設を活かし、地域の活性化に寄与するものです。</p> <p>本市の公共施設マネジメントは、市民の安全・安心を確保し、子どもや孫の世代が安心して暮らせる地域社会を築いていくため、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立していくことを目的とします。</p> <p>そして、その取り組みには、単に施設を減らすだけではなく、「選択と集中」の観点から、本市のにぎわいづくりや活性化にも留意しながら、現在及び将来のニーズ等を見据えて公共施設を再構築するという視点が重要であると考えています。</p> <p>門司港地域複合公共施設整備事業も公共施設マネジメント実行計画の基本方針や施設分野別計画に基づき、事業を進めて参ります。</p>
2	事業概要及び市の対応方針(案)に賛成。	
3	市の案に賛成。	
4	施設が古いのでとてもいいことだと思う。	
5	この事業は、今後の公共施設マネジメントを進める上でモデル事業となることから、本事業を着実に進めてほしい。	
6	公共施設としては、現在の事業計画で進めることができれば、経済性・利便性の向上につながり、大変良いことと思う。	
7	門司港の新たなランドマークとなるこの施設が、早くできることを期待している。	
8	立地面・予算面共に、現状を鑑みただ中でよく精査された内容であり、市の計画には概ね賛成。	
9	計画については、概ね賛成。	
10	数多くのデータが分かりやすく整理・集約・表記されていて、事業の内容が理解できた。 数多くの課題が山積する中、具体化された事業計画にまとめられていると思う。 ①実施事業の背景、②事業の必要性についての確固たる基盤の上にこそ、最善の具体的な計画が策定できるものと期待している。	
11	門司港にある公共施設を交通の便の良い門司港駅の近くの一箇所にまとめると、会議をした後に図書館で本を読んだり、演劇を見た後に友達と門司港レトロのレストランで食事をするのにも便利になるので賛成。	
12	将来の人口を考慮せず、なぜその場所に設置しないといけないのかが説明されていない現計画には反対。	
13	今回の計画には反対。	

(2) 複合公共施設の必要性について(2件)		
14	<p>門司港地域に集積させて、そのあと大里地域にも複合公共施設をつくる。狭い門司区で、2か所に複合公共施設が必要なのか。</p>	<p>門司港地域では、ホールや会議室などの市民利用施設、図書館、区役所庁舎、港湾空港局庁舎を門司港駅周辺に集約します。大里地域では、大里地域にあるスポーツ施設の機能を競輪場跡地に集約します。</p>
15	<p>これまでの市の長期修繕計画はどうなっているのか、これまでの維持管理が出来ていれば、既存施設の老朽化はなかったのではないか。これから30年をスパンに建替え既存維持費等の事業計画書を示すべき。 今回70億円もかけて、建物を作っても、将来同じことをくり返すだけ。 今回の説明資料では事業費の内訳が未定とあるが、事業計画書を作成し、市民に意見を求めるのであれば、ここが一番重要なポイントではないのか。</p>	<p>公共施設を集約した場合と個別に施設を建て替えた場合の概算事業費を比較した結果、集約した方が、個別に建て替えるよりイニシャルコストで約24億円、ランニングコストで年間約6千万円の負担削減が見込まれます。 また、事業費の財源については市の負担が少なくなるよう、国の補助金や交付金、公共施設最適化事業債等を最大限に活用したいと考えています。なお、事業費の内訳は、今後、基本設計を行った段階で、お示しします。</p>
(3) 目標値について(1件)		
16	<p>資料では人口動態を考慮せずに、利用者数を30%増加させることになっている。人口減少を考慮すると利用率は30%以上増加させる必要がある。 根拠を示したうえで、しっかり検討すべき。</p>	<p>複合公共施設は門司港地域のにぎわいに資する施設にしたいと考えており、そのためには多くの方に施設を利用していただきたいと考えています。 現在想定している平成35年度の施設利用者数は、区役所、ホール、会議室は現在の施設利用者と同規模。図書館については、戸畑図書館の事例を参考に約2.4倍としています。 人口減少により利用者数の減少も想定されますが、ホールを多目的にし、会議室利用を時間単位にするなど使いやすい施設にすることに加え、アクセス利便性を向上させ、多くの方に来ていただき門司港地域のにぎわいに資する施設としてまいります。</p>

2. 複合公共施設の位置について(16件)	
17	案Aが良いと思う。
18	「区役所窓口ワンストップサービスに向けた機能性向上」、「アクセスの便利さ」、「経費面」等を考慮すれば、駅東地区(案A)での整備が最善の方策であると思う。
19	使い勝手がよく交通利便の良い門司港駅付近に公共施設を集約する今回の事業については、大いに賛成。
20	市民会館も図書館も今の場所は遠いので、駅の近くになれば、利用しやすい。道路を渡らなくていい案Aの方がいい。
21	新しい庁舎が門司港駅のすぐ近くになると、駅やバス停からのアクセスが良くなり、高齢の方が訪れやすくなる。その面においても大変良いと思う。
22	門司港地区の複合施設の設置場所が驛市場跡になったことは、一安心。
23	今回の計画自体コンパクトシティの名の元になされている計画のようであるが、駅中心部にハコモノを集中するだけでは何も解決しない、周辺商店街、住居地区とのバランスを考えると、今の各施設の場所で色々な工夫をする方が、人の動きや、町の活性化にはよい。 この2案で検討すること自体おかしい。今の区役所でなぜ悪いのか、各施設で本当に不要なものがあるのかどうかは、もう一度市民に意見を聞いてから進めるべき。老松公園等周辺がさびれるばかり。 A案を進めて、駅前に人の動きが集中すると、都市計画上色々な問題が出てくるのでは。安全面の確保はできるのか、なぜJR敷地を借りてまで計画を進めるのか。市の保有する旧JR本社ビルは活用されていない。
24	市民会館、生涯学習センターなど、門司港には施設が点在しており、車などを持たない者にとっては歩くしかなく、とても不便を感じていたため、門司港に点在している公共施設を交通利便性の高い場所に集約することは賛成である。
25	「駅西地区(案B)」は、冬は関門海峡からの冷たい季節風が強い場所で行きづらい点でも望ましくないと思う。商店街やバス停に近い「駅東地区(案A)」が良いと思う。 立体駐車場も「駅西地区(案B)」は9階建てなので、使いにくいと思う。
26	門司港駅そばに、シビックセンターが出来る事には賛成。

【No.17～27】
 門司港地域複合公共施設整備事業は、老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減するものです。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、図書館などの市民利用施設を活かし、地域の活性化に寄与するものです。
 複合公共施設を整備するためには、少なくとも4,000㎡以上のまとまった敷地を確保することが必要で、平成28年に策定した「公共施設マネジメント実行計画」では、交通利便性が高く、商業業務機能が集積する門司港駅周辺において、まとまった敷地を確保できる場所2箇所を候補地としました。
 2つの候補地を比較すると、財政面は大差はありませんが駅東地区(案A)の方が性能面(施設の利便性や市民意見等)で優れており、集約先の候補地として選定しました。

<p>「交通の利便性が高いJR門司港駅周辺に公共施設を集約」とあるが、なぜそうなるのか。</p> <p>門司港地区の人々は、区役所に行くのにJRを使う必要がない。また、新門司地区の人々もバスで出るのは大里地区か小倉。門司港駅やバスの利便性はほとんどない。</p> <p>JR門司港駅は地区市街地の西の端で、その向うは線路と海。多くの住民が暮らし、利用する商店街や病院からも離れている。この観点からも、駅の近くにつくる利便性はない。この地区の住民が使う公共施設は、利便性では歩いてゆけるところ、買物や病院通いのついでに立ち寄れる、市街地の中ほどの商店街附近、即ち、棧橋通りから国道3号線(旧電車通り)を通して老松公園入口までの地域、又は栄町商店街周辺から中央市場周辺地域などの市街地の中心部への配置が良いと考える。</p> <p>案Aは、たまたま、ここに旧駅市場の跡地が空いていて借り易く、敷地面積の不足分は、近くにある同じ所有者の土地を借りれば良いという安易な考えが発端ではないか。</p> <p>「交流人口を増やす機能」とは具体的にどのようなことか。</p> <p>例えば、域外の人を呼び寄せられる音楽会という、音響はじめ諸設備なども整った「響ホール」級の機能がないと興業が成り立たない。スポーツ施設兼用のホールで、折タタミ移動式の客席では、せいぜい小さな講演会ぐらいしか出来ないのではないか。これでは、旧大連航路上屋にあるホールで充分で、新しく作る必要はない。</p> <p>JR駅そばのホールでは、せつかくの域外からの来館者もそのほとんどが、駅から、まっすぐホールへ行き、帰りもまっすぐ駅に向うことになる恐れがある。</p> <p>わざわざ商店街に向うこともなく、レトロ地区も横目に見て終ることになる。レトロ地区や商店街を歩いてもらい、活気をもたらすにはホールを駅から離れた街の中心に設ける必要がある。</p> <p>今回提示された案A・Bの敷地以外にどのような場所が検討されたのか。単に一まとまりの空地があるという安易な選び方でなく、今もこれからの将来も区民のために便利で使い易く、環境にも良いという敷地を手に入れる努力や、複数の所有者・使用者に分かれた土地を集約する努力をしているのか。その作業のため計画の進行が数年遅くなっても、将来の長い時間から見れば報いられることと考える。公共施設マネジメントの施行から見ても、その遅れは許容出来ると考える。再検討を提案する。</p>	<p>門司港地域複合公共施設整備事業は、老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減するものです。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、図書館などの市民利用施設を活かし、地域の活性化に寄与するものです。</p> <p>複合公共施設を整備するためには、少なくとも4,000㎡以上のまとまった敷地を確保することが必要で、平成28年に策定した「公共施設マネジメント実行計画」では、交通利便性が高く、商業業務機能が集積する門司港駅周辺において、まとまった敷地を確保できる場所2箇所を候補地としました。</p> <p>2つの候補地を比較すると、財政面は大差はありませんが駅東地区(案A)の方が性能面(施設の利便性や市民意見等)で優れており、集約先の候補地として選定しました。</p>
---	---

27

<p>28</p>	<p>案Bの土地を採用できない理由は事前に分かっていたのではないか。分からずに候補地としていたのであれば、土地の選定が乱暴であり、問題である。</p> <p>「意見交換では、駅西地区(案B)より駅東地区(案A)での整備を望む声が多い。」と資料にあるが、敷地形状が悪く、高さ制限もあり、交通の利便性も悪い土地と比較しているのだから、当たり前である。</p> <p>固定資産税の支払いも必要ない、区役所という恒久的に必要な資産に借地という選択肢をあえて選ぶ理由が、形の悪い他の候補地と比較では、あまりにも雑な検討ではないか。</p> <p>他人の土地を計画の候補地とした段階から、ここにすることは決まっていたのではないか。そうでなければ、土地の持ち主が計画の候補地にすることに賛成するわけがない。</p> <p>このような計画であれば、貸す側は当然に借りてくれる、いや借りなくては市が困ると判断する。そうすれば、借地料は相当の金額になるのではないか。</p> <p>計画発表から、今回の土地選定までかなり時間がかかっている。どう見ても条件の劣る土地との比較にこんなに時間が必要なのか。企業に高額な要求をされ、その折衝に時間が必要だったとしか思えない。そのような企業相手に乗務員事務所の移転までして借地して建てる必要があるのか。</p> <p>このような検討では、他の候補地がなかったということをもう少し丁寧に資料に記載すべきである。形状や立地条件が著しく劣る候補地案Bのみを対象にした今回の計画の検討は明らかに不十分であると考える。</p> <p>家を建てる時も施設を建てる時も、土地の選定が一番重要。今後半世紀くらいは使うものだから、候補地の検討は丁寧にすべき。</p>	<p>門司港地域複合公共施設整備事業は、老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減するものです。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、図書館などの市民利用施設を活かし、地域の活性化に寄与するものです。</p> <p>複合公共施設を整備するためには、少なくとも4,000㎡以上のまとまった敷地を確保することが必要で、平成28年に策定した「公共施設マネジメント実行計画」では、交通利便性が高く、商業業務機能が集積する門司港駅周辺において、まとまった敷地を確保できる場所2箇所を候補地としました。</p> <p>2つの候補地を比較すると、財政面は大差はありませんが駅東地区(案A)の方が性能面(施設の利便性や市民意見等)で優れており、集約先の候補地として選定しました。</p> <p>案Aの候補地については、地権者と敷地範囲や支障物件移設可否など条件面での協議、利便施設導入に関するサウンディング調査、公共交通などのアクセス強化に関する関係者との協議など鋭意協議・調整を進めてきた結果、当初の予定より時間を要しました。</p> <p>なお、支障物件の移設や借地料が必要となりますが、調書でお示ししたとおり、公共施設を集約した場合と個別に施設を建て替えた場合の概算事業費を比較した結果、集約した方が、個別に建て替えるよりイニシャルコストで約24億円、ランニングコストで年間約6千万円の負担削減が見込まれます。</p>
-----------	--	--

29	<p>門司区の人口は、門司港駅周辺よりも門司駅周辺に集積している。</p> <p>特に門司区は、さらに言うとも門司港地域はより減少することは統計的に示されている。</p> <p>市民の利便性を考えて、門司駅周辺に設置することを検討していないのはなぜか。</p> <p>また、住みやすい利便性の高い大里地域に住宅エリアを作るのでは、おかしくないか。</p>	<p>【No.29～32】</p> <p>区役所は区の行政の中核をなす施設であることから、位置を決める際には、単に人口だけでなく、様々な要因を総合的に勘案する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・門司港地区に、税務署や警察署、税関や海上保安部が入る国の合同庁舎があるなど官公署が集積していること。 ・現在の門司区役所は、門司市時代も含めて80年以上門司港に存在していること。
30	<p>門司港地区と大里地区の再開発をそのまま逆にすべき。</p> <p>門司港は観光場所。</p> <p>門司港の再開発は見込みが無い。</p> <p>門司港は、あえて観光地以外を衰退させて、大里地区に人を押し寄せるべき。</p> <p>また、門司駅南口を再開発すべき。</p> <p>門司駅北口は、大成功したが、南口は、まだ何も手をつけておらず、廃墟感が凄い。</p> <p>南口のパチンコ屋さんや、真ん前に、門司港地域複合公共施設の整備を行うべき。</p> <p>また、それができかねる場合は、門司駅南口に、出張所、高層マンション、スーパー、商業施設の一体型を設置すべき。</p> <p>こうすることで、門司区のコンパクトシティ化が一気に加速し、北九州市のマスタープランと合致している。</p> <p>門司港地域複合公共施設は大失敗すると思う。</p> <p>門司港地域に、住むメリットが無い。</p> <p>電車も本数が今年になり激減し、小倉中心地区にも遠いため、門司駅周辺の方の利便性を高くすべき。</p>	<p>なども考慮すべきと考え、現状どおり門司港地区に置くこととしました。</p> <p>図書館などの市民利用施設については、利用圏域が広く、「市内にいくつか」の施設となるため、お互いの距離感を踏まえた、広域的な配置を踏まえることが必要と考えています。現状、大里地域は門司港地域に加え小倉都心部の施設も利用できる距離にあるため、引き続き門司港での配置が適当だと考えています。</p>
31	<p>門司にも音楽会などができる会場をつくってほしい。</p>	
32	<p>今回みたいな施設は立地場所が非常に重要だと思う。</p> <p>現在門司区では、門司駅周辺で新しい住宅が立ったり、門司競輪場跡地の再開発など「住民」にとって大きく変動し、人が集まっている地域だと感じている。門司区内で人口増加が多いのは門司港駅周辺でなく、門司駅周辺だと思われ、本計画の候補地としては門司駅周辺が適しているのではないか。門司港は観光客こそ多いが、住民はそこまで多くないのではないか。今回の計画の施設は観光客向けでなく市民向けだと思う。</p> <p>北九州市はコンパクトシティ化も掲げており、この計画での場所決定は将来どこにコンパクト化していくのかを示すものにもなるかと思うので、今ある場所に1番近いからというものであれば、今一度考えてほしい。</p> <p>是非門司駅周辺での検討もお願いします。</p>	

3. 公共施設の集約について(29件)

(1) 公共施設の集約の方向性について(14件)

33	門司港地区に分散している公共施設をJR、西鉄バスによるアクセス性の良好な門司港駅前に集約することで、間違いなく市民の利便性が向上すると思う。	<p>【No.33~45】</p> <p>老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を集約することで、共用部分(玄関、階段、トイレ等)の削減など、全体面積の縮減、並びに、整備・維持管理・運営に要する費用の削減を図ります。</p> <p>公共施設を集約した場合と個別に施設を建て替えた場合の概算事業費を比較した結果、集約した方が、個別に建て替えるよりイニシャルコストで約24億円、ランニングコストで年間約6千万円の負担削減が見込まれます。</p> <p>また、会議室の使用時間を1時間単位に見直すなど、これまで以上に効率よく施設を利用いただけるよう努めて参ります。</p> <p>あわせて、ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化やにぎわいの創出を図りたいと考えております。</p>
34	複数の既存施設を、集約することで、施設の建設費、維持管理費、運営費が削減されることは、私たち市民にとっても喜ばしいことだと思ふ。	
35	公共施設を集約することは、利用者の利便性の観点からよい事と思ふ。	
36	少子高齢化、人口減少が進展する中、人口規模に応じた公共施設の見直しによる行政コストの削減などは不可欠である。	
37	公共施設を集約して、コストカットを図ることは大賛成。	
38	本計画は複数の散らばった施設を集約することによって全体の効率化が進むと思われまふので非常に意義のあるものだと思ふ。是非使いやすい施設にしてもらえればと思ふ。	
39	施設が遠くなり、足がないのでバスや公共機関利用するのにも時間がかかりお金もかかる。 子供達も利用するので、各ヶ所にあつた方がよい。集中すると親が送り届けたり、交通機関使用してまではと利用も減るのでは。	
40	改修や建替えによって、施設の場所を変えずに財政の負担を少なくしている他の自治体を参考にしているか。	
41	子どもたちの医療や学費などもかかり、生活が苦しくなるばかり。大型の建物をつくるのではなく、今ある物を生かして利用できるようにしてほしい。	
42	公共施設は住民が気軽に利用できるように分散して建ててほしい。	
43	公共施設を一ヶ所に集合して建てるのは納得できない。	
44	一点集中は困る。地域から遠くなり、土日など集中してくる。	
45	1ヶ所に集中する事は無理ではないか。	

46	<p>区役所とその他の区民利用施設(図書館、ホール、体育館、各種多目的利用室など)とは業務上、使用上関係のない。なぜなら区民利用施設と類似の施設には行政と関係のない民営のものも沢山あり、今では行政の方でも運用を民間委託の流れがある。</p> <p>複合公共施設は財政上の利点があると言われるが、他方欠点もある。例えば、大きな敷地が必要。利用される日・時間が異なり必ずしも運用上の利点があるとは考えられない。将来の社会変化の対応に小廻りが利かない。等々。将来にわたった、大きな建物の維持費、改修費、改築費、建て替え費など考えるとき、現在、主張されている経済性でさえはたして優れているか、疑わしいのではないか。今回の計画で、上記2つの(別々の)機能をもった施設を一つの建物に統合する必要があるのか。財政以外にはどのような理由があるのか。</p>	<p>老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を集約することで、共用部分(玄関、階段、トイレ等)の削減など、全体面積の縮減、並びに、整備・維持管理・運営に要する費用の削減を図ります。</p> <p>公共施設を集約した場合と個別に施設を建て替えた場合の概算事業費を比較した結果、集約した方が、個別に建て替えるよりイニシャルコストで約24億円、ランニングコストで年間約6千万円の負担削減が見込まれます。</p> <p>また、ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化やにぎわいの創出を図りたいと考えております。</p> <p>例えば、区役所を利用した人が図書館も利用することが可能と考えています。また、市民利用施設(会議室等)は災害時の防災機能として活用することも可能と考えています。</p> <p>今後も引き続き複合化により新しい機能、価値を創出する施設になるよう努めて参ります。</p>
(2) 図書館について(5件)		
47	図書館は現在地で建替えてほしい。静かなところで学習、読書などしたい。	【No.47~51】
48	図書館は駐車場(無料)が多くあり、静かな場所がよい。	図書館を複合公共施設に集約することで、共用部分(玄関、階段、トイレ等)の削減など、全体面積の縮減、並びに、整備・維持管理・運営に要する費用の削減を図ります。
49	図書館は今の所を改築して、図書館として独立すべきだと思う。	また、ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化やにぎわいの創出を図りたいと考えております。
50	図書館は閑静なところ、例えば老松公園や現在の区役所の活用を望む。	施設配置の中で静閑な施設づくりに努め、新しい図書館が誰もが使いやすく魅力ある施設となるよう努めて参ります。
51	複合施設だから多くの施設を統廃合するために、無理が生じると思う。特に図書館については、八幡西区の図書館や小倉南区の図書館のように公園等の静閑な環境での設置を検討すべき。老松公園を活用したものにするかや戸畑区の図書館の経験も生かした再検討が必要。	
(3) 多目的ホール(市民会館)について(2件)		
52	門司市民会館はそのままにしてほしい。門司の中では多くの人が入ることの場所はほかにない。小倉や戸畑などに行くには遠い。	【No.52~53】 門司市民会館は、築61年が経過し、老朽化が著しく、耐震基準も満たしてないことから、そのまま存続させることはできません。
53	音楽、カラオケなどの催しができなくなる。	なお、新しい多目的ホールは舞台装置等を備えた文化ホール仕様とし、座席を可動式とすることで、これまでの地域の文化行事や個人の演奏会に加え、軽スポーツなどの利用が可能な施設とします。

(4) 会議室等(生涯学習センター等)について(6件)		
54	<p>施設の部屋数を必ずしも多くする必要はなく、少なくとも利用率を高め、いつも人が集まっている感を出してにぎわいを感じるものにしていただきたい。空き部屋が多く、人が少ないと寒々とするし、防犯上も心配である。</p>	<p>【No.54～59】 門司市民会館、門司生涯学習センター、門司勤労青少年ホームには、会議室、和室等、類似した役割を持つ部屋が複数ありますが、いずれも稼働率が低い状況です。 和室、音楽室、調理室、美術工芸室の多目的利用(会議室機能としての利用)や現状サービス維持のため、現状の需要(稼働率概ね20%未満)とピーク率を踏まえた施設数・量を確保します。あわせて、会議室の使用時間を1時間単位に見直すなど、これまで以上に効率よく施設を利用いただけるよう努めて参ります。</p>
55	<p>会議室を卓球や軽い体操にも使ったり、和室、音楽室、調理室、美術工芸室は空いているときには会議や演劇の練習、ヨガ等に使えると、いろいろな人やグループが使える機会が増えるので良いと思う。 「特定目的のための施設」の考え方を見直し、誰もが利用しやすいようにする」というのは賛成。</p>	
56	<p>施設が狭くなれば、利用者間で利用するときに重複や競合が起こるのではないかと。</p>	
57	<p>会議室が24から7に減ると申し込んでも利用できないことが増える。</p>	
58	<p>会議室の数が減ると困る。希望の日に利用しづらくなる。</p>	
59	<p>門司市民会館と門司生涯学習センター及び門司勤労青少年ホームの3施設を統合する計画ですが、現施設の広さと比べ58%が削減されることになる。公共施設の保有量を20%削減目標に比べて過度の削減計画になっている。サッカースタジアムなど新しく公共施設を建設したためその分が削減させるのであれば、門司区民にとっては公平性に欠けると主張しなければならない。施設が狭くなれば、利用者間で利用に競合が起こることが想定される。削減量について再考を求める。</p>	
(5) 区役所について(1件)		
60	<p>将来の人口減やITの進歩による世の中の変化により、事務関連で人手による作業が激減することになる。区役所での各種手続などもコンビニや携帯で済まされることになる。窓口業務も一部を除き縮小されることになる。新しい庁舎は、築後数年で、今の計画規模でも大きな空スペースができることになるのではないかと。その時、集中統合された大きな建物は、変化に合わせて柔軟な対応が出来ない欠点があると考えます。</p>	<p>区役所は、戸籍や税務、保健福祉や子育て等に関する窓口業務に加え、まちづくりやコミュニティ活動への支援、災害時の防災拠点など、住民に身近な多様な役割を担っています。また、バリアフリーやプライバシーへの配慮も必要となります。 一方で、人口減少やIT技術の発展等による業務の効率化も求められると考えています。 そのため、区役所フロアの整備にあたっては、市民サービスや業務の効率化を踏まえ、検討させていただきます。</p>
(6) その他(1件)		
61	<p>港湾空港局庁舎に市民が足を運ぶことは、ほとんどない。それより、ハローワークは、現在のアクセスがよくないので、入居させた方がよい。認定日には、病人でも足を運ばないといけない。</p>	<p>近い将来建て替えが必要な港湾空港局庁舎を複合公共施設に集約することで、会議室等区役所と共同利用可能な床を削減することが可能となり、建設費や維持管理費を削減することができます。</p>

4. 複合公共施設の仕様について(20件)	
(1) 複合公共施設の施設配置について(5件)	
62	複合公共施設の一階に図書館が入るとの計画ですが、図書館を利用する人は静かな所で利用したいと思うので2階以上がいいのではないかと。
63	1階 利便施設、市民広場、多目的ホール 2階 会議室、多目的ホール 多くの人が集まるホールや会議室は混雑を避けるためにも、また、シンボリックなゾーンとしても寄り付きやすい階に置く。 3階～5階 区役所、港湾空港局 1階から区役所3階に直通のエスカレーターを設置する。エントランスを工夫すれば区民に身近な区役所、寄り付きやすい区役所となる。 6階 会議室、図書館 関門海峡を展望する開放的な図書館、会議室。 レトロの街を眺望する場をつくる。現案は多目的ホールを置いているが、折角の眺望を閉鎖するのは惜しいと思う。
64	区役所を1Fにもってきてもらわないと仕事していて不便になる。
65	高齢者、障害者の利便を最優先し、一階を区役所とし、上の階に図書館を置くべきである。複合施設内の図書館が増えているが、相互の仕切りを明確にしない形も登場している。図書館の意義は、にぎわいに寄与することではないという考えに立つべき。
66	市民説明会で、複合施設の1階を図書館にした理由として、1階を区役所にした場合は、土日が閉まっているため、観光客から見たら閉まっているのはおかしいとの説明があった。区役所は市民がもっとも利用する頻度が高く、市民の利用しやすい視点で検討されるべきで、観光客への体裁を考えて決めることではないと考える。利用度合いや市民サービスの観点で、もっと広く市民の意見を聞く必要があると考える。

【No.62～66】
複合公共施設の施設配置(施設概要)については、現段階の想定をお示ししており、今後の設計で変更することがあります。
ご意見は、今後の検討にあたっての参考とさせていただきます。

(2) 複合公共施設の設計段階での配慮について(11件)	
67	複合公共施設は観光施設ではないので、土日でも市民が利用しやすいようにすべき。
68	複合化による観光客や域外の人が気軽に立ち寄り、住民とも交流できるような、新しい機能、価値を創出するような複合公共施設を目指して、事業実施に向けた準備を継続してほしい。
69	現在の利用実態や今後の人口予測などを踏まえたうえで、各施設の利用者予測を行い、過大な施設とならないような施設設計をお願いしたい。 複数の施設を集約することで、利便性が高まるといわれているが、施設を利用する市民や各団体の使用に支障が及ばないよう十分に配慮して整備してほしい。 高齢者やLGBTにも配慮した、バリアフリー設計としてほしい。
70	既存施設は40～50年前の社会ニーズに応じて整備されたものであり、集約して見直しする際には、現在そして将来のニーズを見据え新たな機能を付加することも検討してほしい。 また施設のストック効果を最大限発揮させるには、日頃から子どもから高齢者まで幅広い世代が活用できる施設とする必要があると思うので、そういった視点からの検討も進めてほしい。
71	年配者や子供連れの親子が利用しやすいことはもちろん、最近増えている外国人観光客・就労者なども利用しやすく、様々な人や文化が交流できるようなものにしてほしい。
72	今後、市が所有する施設に関しても、収益をあげていく必要がある。複合公共施設内の多目的ホール・利便施設・図書館は、民間施設を利用した時と同等分の費用を負担しても、利用者が増加するような独自性や特化性を持たせ、地域のシンボリックな施設にできればと考える。 施設の概要については今後の設計で変わることがあるとのことなので、可能な限り市民の意見を聞きながら、進めていただきたい。
73	現段階の計画では、特徴が感じられない。 オガール紫波のバレーボールコートまで行かなくても、何かとがったものが欲しい。 ホールなら、例えばアルモニーサンクのパイプオルガンのようなもの。オペラが出来るホールなど、レトロに合った物が良いと思う。 図書館なら鉄道関係ならどこにも負けない資料を揃えているとか、まちづくりなら、ここに行けば何でもあるとか、海峡の町の資料など、特徴を出して欲しい。

【No.67～73】
複合公共施設の設計段階での配慮に対するご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。

74	公共施設ではあるが、1階もしくは2階までの部分をテナントとして貸し、観光施設としての使い方も検討していただければと思う。その際は、店舗を中心として検討を進めてほしい。展示スペースや市民の憩いの場などという、まったく意味の無いことは絶対にやめてほしいと思う。	【No.74～76】 複合公共施設には、200㎡程度の利便施設の導入を想定しています。 ご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
75	集約化にあたっては、華美にせずコンパクトにして経費を抑えていただきたい。 施設の1階部分は、コンビニや店舗を入れるなどして、いつも人が集まるよう工夫していただきたい。	
76	街の中心部にあるのでスーパーマーケットや、図書館のカフェがあると、便利でにぎわいもできると思う。 「駅東地区(案A)」の西側には、電車の車庫が広がっているため、建物の高い階から電車の出入りを見られる休憩場所や喫茶店があると、子供や鉄道ファンに人気が出ると思う。	
77	若松図書館が複合施設であるが、電話をかけられる部屋が設けられていない。八幡西・小倉南・市立大学図書館では、設けてあるのでその点も設計の段階でチェックすべき。	図書館の設計段階の配慮に対するご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。
(3) 駐車場について(4件)		
78	駐車場は無料にしてもらいたい。	【No.78～79】
79	区民の施設なのに駐車場利用の際に料金が発生する。新門司エリアの区民にとっては、門司港エリアに出向く際、車での移動が不可欠。 門司区民利用者の駐車場料金は無料をお願いしたい。	複合公共施設に付属する駐車場については、門司港駅に隣接し利便性が高く駐車台数も多いことから有料を基本とします。駐車料金については、各施設の利用形態や駐車時間、周辺の民間駐車場料金などを参考に今後検討することとしています。 なお、区役所利用者については、先行して整備した複合公共施設を参考に検討します。
80	現在のレトロ地区は駐車場の問題がある。駐車場のことも配慮される計画のようなので、ぜひ前向きに進めていただきたい。	【No.80～81】
81	今の施設には十分な駐車場がない。有料でも良いので、できるだけ多くの駐車場を作してほしい。	駐車場の台数は、施設利用者、公用車に加え、門司港レトロ地区の観光、パークアンドライド等様々な利用が想定され、必要な台数を整備します。

5. 門司港地域のまちづくりについて(13件)	
(1) 門司港レトロ地区の景観への配慮について(3件)	
82	<p>建物の外観について、門司港レトロにあるということで「安易に」レトロ風にしないでほしいと思う。</p> <p>また、安易なガラスカーテンウォールにもしないでほしいと思う。</p> <p>いくらレトロ風に似せても、門司港レトロにある「本物」には到底勝てないと感じるから。</p> <p>外観については特に磨きをかけ、100年経っても素晴らしい建物であり続けられるようなものを考えてほしい。</p>
83	<p>必要以上に華美なものとする必要はないが、歴史ある門司港の景観を損なわないように、むしろ今以上の趣を加えるくらいの配慮をもって、建物の外観はある程度風格のある設計としていただきたい。色もそうだが、形にも配慮を。</p>
84	<p>この計画案は門司港の景観条例上問題はないのか。6階建、5階建の建物ではなく低層の計画で、老松公園など、周囲の施設を活用した広範なエリアでの計画の方がまちの回遊性が生まれよいのでは。</p>
【No.82~84】 門司港地区は、景観法に基づく景観重点整備地区に指定されており、複合公共施設や立体駐車場も景観形成基準に適合した景観に配慮した建物にします。 複合公共施設が門司港レトロ地区にふさわしい建物となるよう努めて参ります。	
(2) 集約した施設の跡地・跡施設について(3件)	
85	<p>公の事が一場所で出来るの是一見便利に思われるが、“一極集中”になることでこれまでの施設が廃屋状態にならない様に考慮してほしい。近隣の商店等にとっては死活問題になる。期待半分、不安半分。商店にとっては道路一本、まわりの環境一つで生死が決まる。</p>
86	<p>移転後の跡地利用について、住民の意見を取り入れて、活用してもらいたいと思う。</p>
87	<p>廃止した施設の跡地に新たな公共施設を建設すると、集約化の意味がなくなるため、民間への売却を行ってほしい。</p>
【No.85~87】 複合公共施設の整備に伴う、集約した施設の跡地・跡施設の利活用については、民間売却や民間活用を基本としつつ、まちづくりの視点を取り入れながら、周辺の土地利用に適合した利用に転換します。なお、門司区役所庁舎については、民間活力の導入を視野に、その外観や歴史性、眺望を活かし、門司港レトロ地区の活性化に資するような利活用に向け、今後検討することとしています。	

(3) 商店街、レトロ地区との連携について(7件)		
88	商店街の方にも人が行くように考えてもらいたい。	【No.88～94】 周辺の中心市街地やレトロ地区のにぎわいに対するご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。
89	折角、レトロ地区と門司港市街地の間に作るのですから、流れを作れるように配置していただきたいと思う。	
90	この機会をとらえて、栄町周辺の活性化策を是非考慮していただきたいと強く思う。 まち中居住、コンパクトシティ化に伴い、ますます街の再生・活性化が重要。 民泊用ホテルが4棟建設される予定であり、街に外人・旅行者も増える。	
91	市民会館・文化ホールが観光の中心地に移動することで、門司港駅舎やレトロ地区・門司港ホテル等を訪れる観光客による利用も見込まれ、夜の公演等によってレトロ地区への宿泊、滞在時間の延長に繋がることが期待される。	
92	潮風号・海峡ドラマシップ・レトロ地区との一体運営及び今回の投資による新しい観光価値の創出を期待する。	
93	門司港駅とレトロ地区と今回の複合施設が一体的になれば、市民が施設を身近に感じられ、魅力が増す。	
94	門司港駅のすぐ近くということは、門司港レトロ地区の観光地の中に建設されるということであり、現在の観光地としての門司港に大きな影響を与えることになる。新しい庁舎も観光施設の一部という考えをもっていただきたいと思う。	

6. 広報、意見聴取について(5件)	
(1) 市民意見の聴取について(4件)	
95	<p>市政だよりが届かない、町内に入っていないという人もいます。住民に知らせることが怠っていないか。</p>
96	<p>今回の計画について事前に幅広く市民の意見をなぜ聞かないのか、一部の見識者等に聞いても本来の意見とはかい離がありすぎる。</p> <p>今回の意見を求めるのは、もうすでに決まった内容の上の形だけのものではないのか。</p> <p>来年春には基本設計とあるが、おかしいのではもっとこれから市民の意見を聞き計画の意義含めて進めるべき。</p> <p>今回の計画は門司港地区だけの問題ではない。大里地区の市民にも説明会を開くべき。</p> <p>このような一部の意見で集約を計るような方法ではなく、市民のワークショップ的な場をつくり、市民参加型のまちづくりを進めるべき。</p>
97	<p>門司港地区複合公共施設について、市民との意見交換会が行われていないのはなぜか。大里地区複合施設事業では、地元で3回の意見交換会と市民説明会の計4回が行われた。</p> <p>門司港地区複合公共施設についても、少なくとも大里地域の意見交換会及び市民説明会のレベルを下回ってはいけないと思う。「丁寧に進めていく」のであればもっと市民の意見を聞く場をつくるべき。</p>
98	<p>この「事業概要」「対応方針(案)」には、30年・40年先の門司港地区をどのような街にしてゆきたいかというビジョンが示されていない。いろいろな方策が何に向けてなされるのか、一番大切な目標が示されていない。大多数の住民が納得するビジョンをつくるには、まず広く一般住民の意見を集めることから始めることが、間違いのない効率的な手順であると考えます。</p> <p>いわゆる「一般市民」には、その道に優れた多種多様な専門家が沢山含まれる。その人達の意見を聴かないのは大きな損失。今回の事業でも基本設計、基本計画がまとまった段階で、又ぜひ「一般市民」を相手にした説明会の開催と市民意見の募集をお願いします。</p>
【No.95~98】 平成27年5月に計画の方向性を公表後、平成30年末まで、門司区内では、商店街や地元住民の方々との意見交換会を52回開催し、市民意見の把握に努めてきました。今後も適宜、効果的な方法で市民への周知と意見の把握に努めて参ります。 また、ご要望に応じて「出前講演」にお伺いすることも可能です。ご希望の方は、都市マネジメント政策課(TEL:093-582-2076)までご連絡下さい。	
(2) 関係団体との連携について(1件)	
99	<p>拠点性を高めるためには、施設整備に留まらず、交通アクセスや観光など立地特性を考慮した周辺整備も必要であると思うので、関係機関・団体等を巻き込み連携しながら事業を進めてほしい。</p> <p>複合公共施設の整備を行うにあたり、交通アクセスや周辺整備も必要と考えており、関係機関や関係団体等と連携して進めて参ります。</p>

7. その他(12件)		
100	<p>今回の意見募集で出されたいろいろな意見を正確に公表してほしい。 そして意見に対して真剣に向き合って考えてほしい。</p>	<p>今回の意見募集で出された意見については、正確に公表するよう努めました。</p>
101	<p>旧JR九州本社ビルがこの公共施設マネジメントに入ってない事が残念。 門司港レトロ倶楽部から門司港駅の修復に間に合うように利活用策の提案も出したが、何の動きもないまま、門司港駅のオープンを迎える。 駅前で、最も重要になる場所と思うが、どうなるのか。</p>	<p>現在、旧JR九州本社ビルは1階、2階に限り、暫定的にアトリエ、ギャラリーなどの活用をしています。 旧JR九州本社ビルの利活用については、民間活力の導入を含めて引き続き検討を進めて参ります。</p>
102	<p>本来今回の計画がなぜ必要なのか、都市マネジメントの名の元、市民の危機感をあおる施策自体に問題がある。反省すべきでは。</p>	<p>本市は、高度経済成長期只中の昭和38年、五市対等合併によって誕生しました。 当時は、時代の要請から全国的に積極的な社会資本整備が行われており、本市においても、当時の行政課題に応じて、旧五市の均衡を図りながら、着々と公共施設の整備が進められました。 本市が保有する公共施設の多くは、昭和40年代から50年代にかけて整備されており、建築後30年を経過した施設が半数を超えています。こうした施設の一部はすでに老朽化が進んでおり、近い将来、大規模改修や更新(建替え)が必要な状況になってくることが予想されます。 本市の財政状況は依然厳しい中、公共施設に関する対策を何も講じなかった場合、将来的には、「財源不足のため必要な補修ができず、老朽化した壁や天井が壊れ、立ち入りや使用を禁止せざるを得ない公共施設が全市域に発生する」といった最悪の事態になりかねません。 こうした事態を未然に防ぎ、市民の安全・安心を確保するためにも、できるだけ早く公共施設マネジメントの取組みを進め、市民が公共施設を利用しやすい環境を整えるとともに、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制を確立することが大変重要と考えています。</p>
103	<p>今の公共施設の利用予定表を見ていると、いくつかの決まった団体がよく利用しているように見受けられる。月に何回も使う団体やグループについては、税金で整備した公共の施設を専用的に使っていると考えられるので、割増料金をとっても良いと思う。 公共の施設ですから、もっと広く一般の人やグループが、公平で使いやすくなるように、予約方法や空き状況がわかるような仕組みを作してほしい。</p>	<p>効果的かつ効率的な施設運営に対するご意見については、今後の参考とさせていただきます。 なお、生涯学習センターでは、市民の皆様が公共施設を簡単・公平に利用していただくため、平成31年4月から予約システムを導入します。このシステムを利用することにより、パソコンやスマートフォン、従来の携帯電話等から、施設の利用予約や空き状況の確認が24時間可能となります。</p>
104	<p>門司図書館から老松公園、中央市場へと繋がる道は、子連れにとって子どもを遊ばせた後に買い物ができる大変利用しやすい場所だが、駐車場がないことで、足を遠のかせている若い世代がいる。 老松公園内の利用がない広場を駐車場として解放してはどうか。 現在、図書館で講座がある時などに開放されることはあるが、市場利用者も対象にしてほしい。</p>	<p>図書館跡地の活用について、今回のご意見を参考に検討を進めて参ります。</p>

105	これからも、若い人たちや子どもたちが住みつけられる門司港にしてほしい。	【No.105～111】 門司港地区や大里地区の振興を図り、若い人々が住み続けられるような、まちづくりを進めます。
106	門司港は歴史の古い土地柄で、古くから住んでいる人たちも多く、高齢化が目立つ。若い人たちが集まり、仕事などもできる場所を作してほしい。	
107	門司港は、北九州市のなかでも大切な観光地であることを考えれば、スペースワールドが閉鎖されてしまった以上、門司港で市外県外からの観光客が満足して外へ向かって発信してもらえるように、しっかりと考えていきたいと思う。 これからの門司を支える若い世代に向かって考えていただきたいと思う。	
108	門司学園高校が猿喰に移転して、戦前は五校あった高校が、門司港地区になくなった。小規模でも構わないので、老松公園に街中の高校として復活を望む。 門司港駅の発車本数も、日中は1時間2本になってしまった。これでは、田舎の駅。観光地らしく本数も増え。活気ある門司港になって行く事を祈念する。	
109	門司には、若い世代が、リノベーション等で町おこしに取り組んでいる地区が数多くある。駅前でその取り組みが止まってしまうことがないよう、まちづくりに特化した団体や若い世代の起業家の意見も取り入れた町おこしをお願いします。	
110	これまでの説明会に参加した人々は、ほとんど年長者や高齢者であると思う。複合公共施設を将来に渡って長期間利用する若き人々の意見も取り入れたらどうであろうかと思う。	
111	大里地区もよろしく願います。	